



ConMas Designer  
**iPhoneでの入力のための設定**  
操作説明書

---

Rev.1.0.0  
2014.05.20

# 改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-05-20	V4.1	--	初版を発行しました。

# 目次

- iPhone編集モードの設定
- iPhoneリスト形式時のクラスター表示/非表示の設定
- iPhoneリスト形式時のクラスター表示順の設定

# iPhoneの編集モードとは

iPhoneで帳票入力の方法には、

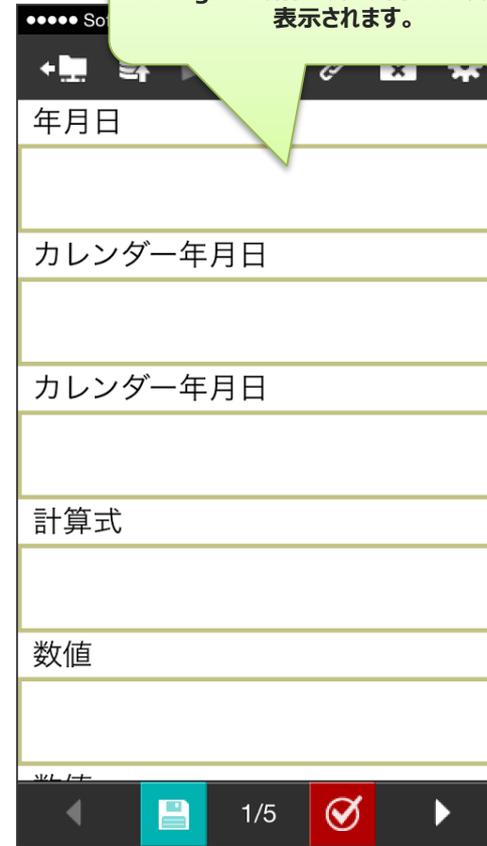
「帳票形式」「リスト形式」の2種類があります。



設定のない既存定義はこの表示が  
出ます。



「帳票形式」



「リスト形式」

# iPhoneの編集モードの設定

iPhoneで帳票入力の方法を、帳票定義単位に「iPhoneで選択(Default)」 「帳票形式」 「リスト形式」から選択します。

帳票定義情報設定

画像ファイルから作成する      EXCELファイルから作成する

PDF,TIFF,GIFファイルから作成する      この定義の履歴から最新版を作成する      キャンセル

■ 帳票定義名称

\_\_\_\_\_

■ 帳票名称自動作成設定

\_\_\_\_\_      プレビュー

■ サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

保管せずに削除する       保管する

■ 保存の度に帳票名を変更

しない       する

■ iPhoneでの入力

iPhoneで選択       帳票形式       リスト形式

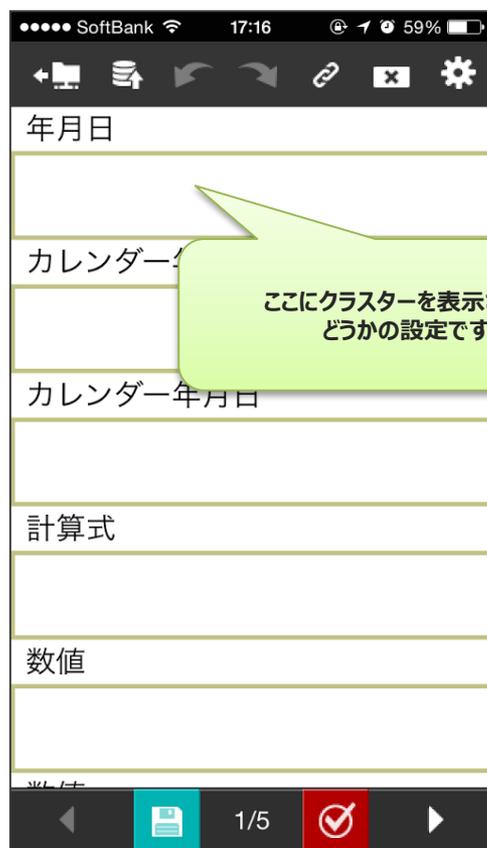
この設定のない既存の帳票定義は  
iPhoneで選択となります。

# 「リスト形式」時のクラスター表示/非表示の設定

iPhone編集モードの設定にて「リスト形式」を選択した場合に有効となる設定です。そのクラスターをiPhoneで表示するかしないかを設定できます。

本設定は下記の2通りの方法で設定可能です。

- 1) クラスターの入カパラメーター画面で設定する。
- 2) 右クリックメニューの「クラスターを表示する/表示しない」で設定。



## 1) クラスターの入カパラメーター画面で設定



# 「リスト形式」時のクラスター表示/非表示の設定

2) 右クリックメニューの「クラスターを表示する/表示しない」で設定。

- 設定を変更したいクラスターを画面から選択状態にします。複数選択が可能です。
- 右クリックメニューから「iPhoneリスト形式時の表示」→「表示する」/「表示しない」を選択します。
- 選択していたクラスターの設定を一括で変更します。
- 右クリックメニューが有効となるのはクラスターモードが「配置」「選択」「固定」の時のみです。

縦方向にコピー  
横方向にコピー  
グループID自動設定  
グループID指定  
帳票コピー時の設定  
時刻計算クラスター選択  
コピー

「iPhoneのリスト形式時にこのクラスターを表示しない。」にチェックをすると、iPhoneには、このクラスターは表示されません。

年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
数値	数値	数値	数値	計算式(数値)	計算式(数値)
数値選択	数値選択	数値選択	数値選択		
時間数	時間数	時間数(しきい値)			
時刻(開始)	時刻	時刻(終了)	時刻		

- 「帳票形式」を設定していたとしても特に制限はなく本設定を行うことはできます。
- Defaultでは「リストにそのクラスターを表示する」となっています

# 「リスト形式」時のクラスター表示/非表示の設定

iPhoneリスト形式時にクラスターを表示する/表示しないの設定は、クラスター一覧グリッド中の「iPhone表示」列に表示されます。

「1:表示する(Default)、0:表示しない」



Index	名前	種別	iPhone表示	iPhone表示	入力パラメーター
0	年月日	年月日		0	Required=1;AutoInp
1	カレンダー-年月日	年月日		0	Required=0;AutoInp
2	カレンダー-年月日	カレンダー-年月日	2	1	Required=0;AutoInp
3	計算式	カレンダー-年月日	3	1	Required=0;AutoInp
4	数値	数値	4	1	Required=1;Maximu

# 「リスト形式」時のクラスター表示/非表示の設定の制限

※ネットワーク設定など複数のクラスター間での設定が行われている場合には、それらの関連する全てのクラスターにおいて、同じ「iPhoneリスト形式時に表示する/表示しない」の設定を行ってください。

「iPhoneリスト形式時に表示する/表示しない」の設定が全て同一である必要があります。

関連するクラスターの中で、1つでも「表示しない」設定のあるものは、帳票定義保存時に自動で関連するクラスター全てを「iPhoneリスト形式時に表示しない」設定に変更されます。（自動で変更するためエラーは表示されません）

この制限が対象となる複数のクラスター間での設定は以下の通りです。

- ・ネットワーク設定
- ・カーボンコピー設定
- ・帳票コピー設定（コピー元とコピー先の関係）
- ・カスタムマスター設定
- ・QR分解設定
- ・計算式クラスターと、計算対象となるクラスター
- ・時刻計算クラスターと、計算対象となる時刻クラスター
- ・トグル集計クラスターと、集計対象となるトグル選択クラスター

# 「リスト形式」時のクラスター表示順番

iPhone編集モードの設定にて「リスト形式」を選択した場合に有効となる設定です。  
iPhoneリスト形式時のクラスター表示設定で「表示する」に設定したクラスターに関して、  
iPhoneリスト形式時の表示順番を設定する事ができます。

本設定は下記の2通りの方法で設定可能です。

- 1)グリッド上から直接編集する。
- 2)選択順で自動採番する。

## 表示順の採番ルール

- ・表示順番は、0始まりのint型で採番されます。
- ・表示順番のDefault値は、それぞれのクラスターIndexになります。
- ・表示順番設定がnullのものはクラスターIndex順に表示されます。
- ・表示順番は連番である必要はありません。  
飛び番の場合も、設定した数値の小さい順でiPhoneでは表示されます。
- ・表示順番は同一の数値も設定する事ができます。  
表示順が同じものは更にクラスターIndex順に表示されます。  
(第1ソートが表示順で、第2ソートがクラスターIndex順になっています。)
- ・「リスト形式時にクラスターを表示しない」設定のクラスターは表示順がnull設定になります。
- ・「表示しない」設定にした時点で設定されていた表示順設定は自動でnullになります。この際、他のクラスターの表示順の採番し直しはしません。  
(リスト形式時に表示しないクラスターに対しても、グリッド上から表示順の設定は可能ですが、帳票定義の保存時の自動チェックで表示順はnullに変更します。)

ここに表示するクラスターの  
順番の設定です。

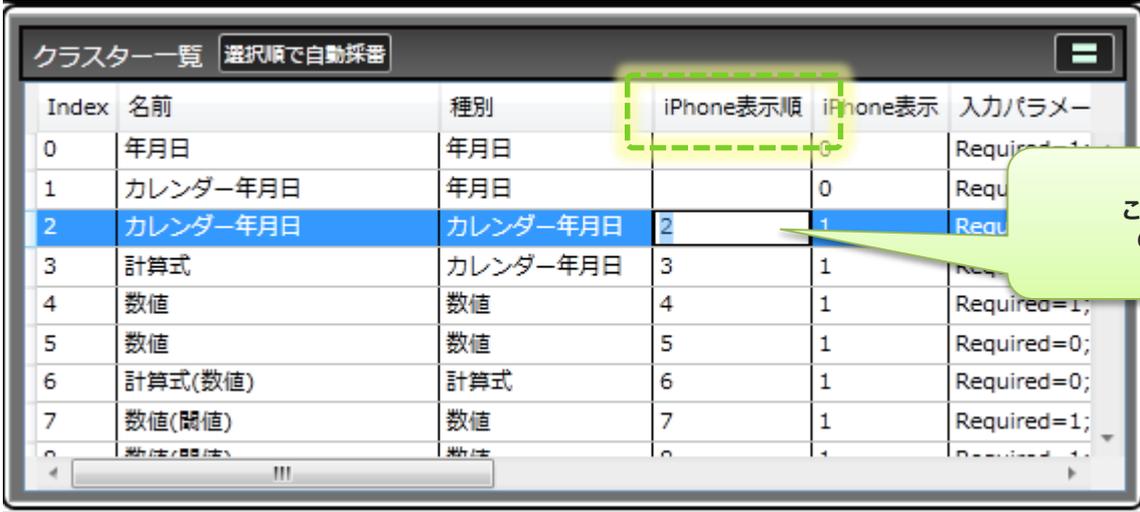
The screenshot shows an iPhone settings interface for cluster display order. At the top, the status bar shows 'SoftBank', signal strength, Wi-Fi, time '17:16', location, and battery '59%'. Below the status bar is a navigation bar with icons for back, home, forward, link, close, and settings. The main content area is a list of clusters, each with a label and an input field for the display order. The labels are '年月日', 'カレンダー-年月日', 'カレンダー-年月日', '計算式', and '数値'. The first input field is empty and highlighted by a green callout bubble. The bottom of the screen shows a navigation bar with a back arrow, a document icon, '1/5', a red checkmark icon, and a forward arrow.

# 「リスト形式」時のクラスター表示順番の設定

## 1) グリッド上から直接編集する。

- ・ クラスター一覧の「iPhone表示順」のセルをダブルクリックすると表示順を編集することができます。

(「iPhone表示順」以外のセルをダブルクリックすると入力パラメーター画面が起動しますのでご注意ください。)



Index	名前	種別	iPhone表示順	iPhone表示	入力パラメー
0	年月日	年月日	0	0	Required=1;
1	カレンダー-年月日	年月日	1	0	Required=1;
2	カレンダー-年月日	カレンダー-年月日	2	1	Required=1;
3	計算式	カレンダー-年月日	3	1	Required=1;
4	数値	数値	4	1	Required=1;
5	数値	数値	5	1	Required=0;
6	計算式(数値)	計算式	6	1	Required=0;
7	数値(閾値)	数値	7	1	Required=1;
8	数値(閾値)	数値	8	1	Required=1;

ここに表示するクラスターの順番を設定します。

# 「リスト形式」時のクラスター表示順番の設定

## 2) 選択順で自動採番する。

- クラスター一覧グリッドで行を選択していきます。
- クラスター一覧グリッド上部の「選択順で自動採番」ボタンをクリックします。
- 選択した順番に表示順を自動採番します。
- マウストラッグで一度に複数選択した場合にもその選択した順番で自動採番します。
- 選択されていない行のクラスターは選択されたクラスターの次の番号からINDEX順で採番します。
- また、「iPhone表示=0：しない」のクラスターは、選択していたとしても採番対象外になります。

Index	名前	種別	iPhone表示順	iPhone表示	入力パラメー
0	年月日	年月日		0	Required=1;
1	カレンダー-年月日	年月日		0	Required=0;
2	カレンダー-年月日	カレンダー-年月日	0	1	Required=0;
3	計算式	カレンダー-年月日	1	1	Required=0;
4	数値	数値	2	1	Required=1;
5	数値	数値	3	1	Required=0;
6	計算式(数値)	計算式	4	1	Required=0;
7	数値(閾値)	数値	5	1	Required=1;
8	数値(閾値)	数値	6	1	Required=1;
9	数値選択	数値選択		0	Required=0;
10	数値選択	数値選択		0	Required=0;
11	計算式(数値選択)	計算式		0	Required=0;
12	数値選択(閾値)	数値選択	7	1	Required=1;
13	数値選択(閾値)	数値選択	8	1	Required=1;
14	時間数	時間数		0	Required=0;
15	時間数	時間数	9	1	Required=0;
16	時間数(閾値)	時間数	10	1	Required=0;
17	時間数(閾値)	時間数	11	1	Required=0;
18	計算式(時間数)	計算式	12	1	Required=0;
19	時刻	時刻		0	Required=0;
20	時刻	時刻		0	Required=0;
21	時刻計算	時刻計算		0	Required=0;
22	時刻	時刻	13	1	Required=0;

クラスター一覧グリッド



Index	名前	種別	iPhone表示順	iPhone表示	入力パラメー
0	年月日	年月日		0	Required=1;
1	カレンダー-年月日	年月日		0	Required=0;
2	カレンダー-年月日	カレンダー-年月日	0	1	Required=0;
3	計算式	カレンダー-年月日	1	1	Required=0;
4	数値	数値	2	1	Required=1;
5	数値	数値	3	1	Required=0;
6	計算式(数値)	計算式	4	1	Required=0;
7	数値(閾値)	数値	5	1	Required=1;
8	数値(閾値)	数値	6	1	Required=1;
9	数値選択	数値選択		0	Required=0;
10	数値選択	数値選択		0	Required=0;
11	計算式(数値選択)	計算式		0	Required=0;
12	数値選択(閾値)	数値選択	6	1	Required=1;
13	数値選択(閾値)	数値選択	7	1	Required=1;
14	時間数	時間数		0	Required=0;
15	時間数	時間数	8	1	Required=0;
16	時間数(閾値)	時間数	12	1	Required=0;
17	時間数(閾値)	時間数	9	1	Required=0;
18	計算式(時間数)	計算式	10	1	Required=0;
19	時刻	時刻		0	Required=0;
20	時刻	時刻		0	Required=0;
21	時刻計算	時刻計算		0	Required=0;
22	時刻	時刻	13	1	Required=0;

ここに表示するクラスターの順番を設定します。